

新病院改革プラン(H28～R2)の点検評価

◎	達成
○	概ね達成
△	現状維持
×	未達成

項目		目標	実績	評価	評価内容
1. 本村における 椎葉国保病院の 役割	①医師の体制	医師3人体制の継続	5年間継続して医師3人体制を確保できた	○	医療従事者の人材不足や都市部への偏在が進む中、定着医1人、宮崎県からの派遣医師2人の医師3人体制を5年間維持することができた
	②病院機能	機能分化は行わず、あらゆる患者に対応できる病床機能を持つ	急性期病院としての許可が継続され、回復期及び慢性期の幅広い患者も受入ができています	○	DPCデータの提出により急性期病床としての厚生局への届出が継続できたほか、厚労省の再編統合を検討すべき病院リストから除外され、管内の医師会からも病床再編は必要なしとの承認を受けた
	③小規模多機能病院	へき地医療として新しい区分となる小規模多機能病院の創設	小規模多機能病院の創設までは至らなかったが、国及び県、医師会等の関係機関に対して要望活動を行った	△	第7次宮崎県医療計画において、へき地医療拠点病院に再指定され、医療の再編や調整が困難な地域として、計画に病院名が初めて明記された不採算地区病院として各関係機関からも理解を得られた
	④地域包括医療・ケアの取り組み	行政・社協・平寿園と情報の共有化を図りながら、医療福祉サービスが重複しないよう配慮し、村民の健康増進に貢献していく	毎月地域ケア会議等に職員を派遣し関係機関との連携した取り組みを行った	△	関係機関との情報共有化、連携した対応ができています。さらに、他医療機関との入退院調整などの連携により、患者の希望に沿った対応をしている
2. 経営の効率化	①医療	多くの住民に「かかりつけ病院」としてもらえよう、直進率50%以上、1日平均外来95人、1日平均入院20床をめざす	村外への通院が困難になった高齢者を中心に新規患者は増加傾向にあるが、数値目標については直近では何れも下回った	×	患者数については人口減少に伴い、緩やかではあるものの減少傾向にある。計画後期においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。ただし、高齢者をはじめ巡回診療等の利用者はやや増加傾向にある
	②学校保健	現状の質を確保する	学校数は統廃合により減少したが、教育委員会と連携した対応は維持できた	○	各種健診など従来どおりの内容を維持しながら、継続して対応できている
	③健診	事業所健診の契約を3件以上増やす	計画前の8事業所から最大14事業所、令和2年度は11事業所	○	事業所健診は年々増加傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた
	④病床数	病床30床を維持する	救急分2床を含む30床を維持できた	○	当初計画では2床減ずるとあったが、病院運営協議会でも諮った上で、令和元年に30床維持とした交付税などの財政措置や感染症対策用の病床確保分もあり、当面は30床を維持していく方針
	⑤巡回診療	巡回利用者のアクセス向上のため、送迎車、地域ボランティアの構築をめざす	行政、社協、集落支援員などの連携により改善された	○	高齢者の自動車免許返納の促進などの影響により、支援が必要な方は年々増加傾向にあるが、集落支援員の配置が各地区でなされていることから、巡回診療の利用環境は改善が進んでいる
	⑥職員	看護職員の年齢構成の適正化、5年間で5人以上の採用	5年間で6人の若手看護職員を採用した	○	県内外で医療従事者の慢性的不足が問題となる中、当院では概ね計画どおり採用できている。今後も定年退職者が毎年予定されているため、現状維持をめざしてUIターン者の採用に取り組む
3. 再編・ネットワーク化	高次医療機関との連携	高次医療機関との連携強化(救急業務、重病・重症患者の入退院)	ドクターヘリ・ドクターカーによる救急搬送の連携強化 他医療機関との連携による入退院調整	○	高次医療機関への救急搬送は環境整備が進み改善されつつあり、オンライン遠隔診療による大規模病院からの専門医支援の環境も試験的に始まった
4. 経営形態の見直し	経営形態	民間譲渡、診療所化、老健施設への移行や統廃合は行わず、現在の経営形態を維持する	単独病院としての経営形態を維持できた	○	椎葉村議会の発議による地域医療を守る条例が令和元年に制定されるなど、各関係機関の理解のもと、経営形態の維持ができています
5. 財務指標	別表参照	別表参照	別表参照	×	経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収支比率については、新型コロナウイルス感染症の影響も要因の一つとなり、目標を達成できなかったが、全国の類似団体との比較では何れも平均値を上回った 不良債務比率及び資金不足比率については、目標を達成し、経営上の資金不足による懸念は今のところ心配ない状況である

(別表)

財務指標(H28～R02)

(単位: %)

		H28	H29	H30	R01	R02	評価	備考
経常収支比率	目標	98.9	97.9	99.9	102.3	110.5	×	経常費用に占める 経常収益の割合 理想値100%以上
	実績	94.2	100.3	98.7	99.0	99.4		
医業収支比率	目標	82.5	83.6	85.5	88.0	96.2	×	医業費用に占める 医業収益の割合 理想値100%以上
	実績	78.4	81.3	79.3	78.4	72.2		
職員給与費対 医業収支比率	目標	66.9	67.4	第1次呂 岐県医 療計画に	65.2	60.0	×	医業収益に対する職 員給与費の割合 理想値50%未満
	実績	74.9	73.5	77.4	79.4	86.8		
不良債務比率	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	○	流動負債>流動資産 の時、不良債務が医 業収益に占める割合 理想値0%
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
資金不足比率	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	○	流動負債-流動資産 資金不足額が事業規 模に占める割合 理想値0%
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		